

Read! Imagine! And Write!

2023年9月28日(木)



授業内容 1000文字以内で読む人の目に情景が浮かぶような文章を創作する

日時 2023年9月28日(木曜)4限時間帯(14時25分~15時55分)

場所 第2学舎1階 スチューデントコモンズ

対象 本学学生・院生・教職員、一般(10名)

申込方法 メール

申込者には、受付確認を兼ねて課題のヒントとなる文章をお送りします。

受講申込締切 **2023年9月20日(水曜)23時59分**

件名に「9月28日きたむら先生授業申し込み」と明記し

本文に「学籍番号/一般、氏名、連絡先」を記載

課題提出締切 **2023年9月21日(木曜)23時59分**

件名に「9月28日きたむら先生授業課題」と明記し、

本文に、学籍番号/一般、名前、連絡先を記載

お問い合わせ・申し込み・課題提出先: kobecufs.sp.21@gmail.com (西川健誠)

きたむらさとし先生からのメッセージ 創作の時間 3

情景の浮かぶ文章

みなさんにも、これまでの人生のなかで忘れがたい一日、思い出深い出来事があつたと思います。楽しいこと、悲しかったこと、あるいは理由はわからないけどずっと記憶に残っているささいなこと。そんなことを書いてください。できれば 1000 文字以内で、なるべくコンパクトに、でも読む人の目に情景が浮かぶような文章を工夫してみてください。楽しみにしています。

皆さんの創作意欲を刺激することを願って、いくつか、日本語・英語の詩人による魅力的な詩を例としてあげたいと思います。

鮎くれてよらで過行夜半の門

「友達が夜遅く釣ったばかりの鮎を持ってきてくれた」という、それだけのことをうたった与謝蕪村の一句です。

でもその何でもない日常の光景も、読み込んでいくうちに、まるで映画の中の一シーンのような印象深いものになってきます。

Evening Chess

The Black Queen raised high
In my father's angry hand.

これは Charles Simic による、たった二行の詩です。
中学生でもわかるような簡単な英語で書かれています。

でも注意深く読むと 'angry' の一語によってこの二行がなんとも味わいのある一枚の絵のように見えてきます。

上にとりあげたのは短い詩ばかりですが、それぞれ情景が目に浮かぶような魅力的な作品群です。参加される方にお送りする資料には、さらにいくつか、情景が目に浮かぶような詩をあげました。題名だけあつて本文のない、変わった詩もあつたりします。

みなさんも、チャレンジしてみてください。

